②　減損の兆候の概要

深浦ハウスは、豪雨により崩落した道路の復旧が完了したものの、利用再開に向けた準備に時間を要し十分な稼働期間を確保できなかったことにより、減損の兆候が認められております。

職員宿舎１号棟（桔梗野団地）は、入居者数の減少に伴う稼働率の低下により、減損の兆候が認められております。

文京荘及び屋内プールは、用途変更や機能強化に向けた改修を検討しており、その間の使用中止により、減損の兆候が認められております。

③　複数の固定資産を一体として判定した理由

当該資産は、建物及び建物と補完的な関係を有する附属設備からなっており、それらは一体となってそのサービスを提供するものと認めております。

④　減損の認識に至らなかった根拠

深浦ハウス及び職員宿舎１号棟（桔梗野団地）は、一時的な稼働率の低下であり、将来の使用の見込みがあり、その使用目的に従った機能を現に有しているため、減損を認識しておりません。

文京荘及び屋内プールは、改修に向けた一時的な使用中止であり、将来の使用の見込みがあるため、減損を認識しておりません。

⑵　翌事業年度以降の特定の日以後使用しないという決定をした固定資産

①　用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

（単位：円）

名　　称	用途	種類	場　　所	帳簿価額
臨床研究棟（外来診療棟への渡り廊下含む）	教育・研究施設	建物	青森県弘前市	653,091,944

②　使用しなくなる日

令和８年度以降の特定の日

③　使用しないという決定を行った経緯及び理由

当該資産は、医学部附属病院の整備計画に基づく病棟新営に伴い、解体予定となっております。

④　将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額

使用しなくなる日が未定であるため、算出しておりません。

８．国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト

（単位：円）

Ⅰ　業務費用		
⑴　損益計算書上の費用	48,456,343,086	
⑵　（控除）自己収入等	△34,780,423,220	
業務費用合計		13,675,919,866
Ⅱ　資本剰余金を減額したコスト等		1,579,845,852
Ⅲ　機会費用		
国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	29,341	
政府出資等の機会費用	447,996,763	
無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用	5,440,271	453,466,375
Ⅳ　（控除）国庫納付額		—
Ⅴ　国立大学法人等の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト		15,709,232,093

㈱　機会費用の計上方法

①　国等の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法

近隣の地代や賃借料を参考に計算しております。

②　政府出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付政府保証債の令和７年３月末利回りを参考に、1.485％で計算しております。

③　国等からの無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用の計算に使用した利率

10年利付政府保証債の令和７年３月末利回りを参考に、1.485％で計算しております。

９．収益認識

当法人は、以下に記載する内容を除き、国立大学法人会計基準第77における収益に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

⑴　収益の分解情報

当法人は教育・研究・診療業務及びその他の事業を実施しており、国立大学法人会計基準第77を適用する取引に係る主なサービス等の種類と収益の額は、以下のとおりです。

附属病院の診療による附属病院収益　　27,524,261,369円

⑵　収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

（重要な債務負担行為）

当事業年度内に締結し、その支払いの全部又は一部が翌事業年度以降にわたる契約のうち、重要なものは以下のとおりであります。

（単位：円）

件　　名	契約額	翌期以降支払額
医療画像統合診断支援システム	599,460,400	591,134,498
（本町）総合研究棟（臨床系）改修工事	1,018,600,000	146,858,120
（本町）放射線安全総合支援センター研修棟（仮称）新営工事設計業務	55,000,000	55,000,000

（重要な後発事象）

該当事項はありません。